

令和元年度鹿児島県PTA活動研究委嘱公開 知名町大会

- 期 日：令和元年11月23日（土）
- 会 場：おきえらぶ文化ホール あしびの郷・ちな
- 参加者数：341人
- 研究主題：

家庭や地域の教育力を高め、心身ともにたくましく互いに助け合う「エラブのわらんきゃ」を育てるPTA活動はどうあればよいか



【 アトラクションの様子 】

○ 大会内容

- 1 アトラクション：「鼓楽舞」 県立沖永良部高校エイサー部
- 2 研究発表・研究協議
 - (1) 住吉小学校PTA：「かしこくやさしくたくましい住吉っ子の育成を目指したPTA活動の推進」
式典における花農家からのエラブゆり等の提供や、青壮年団及び建設会社の協力を得ながらの奉仕作業、各種団体と連携した合同行事開催など、学校・PTA・地域が一体となって住吉っ子の育成に取り組んでいる。
 - (2) 田皆中学校PTA：「健全な田皆っ子育成のために～全員参加・協力の充実した活動を目指して～」
「インターネットに接続できる機器の使用時間が長い」「むし歯保有率が高い」「基本的な生活習慣の確立が必要である」といった課題を踏まえた解決策を講じ、全員参加のPTA活動を目指して各専門部で連携しながら取り組んでいる。
 - (3) 国立研究開発法人理化学研究所チームリーダー 水野 敬 氏：「発達期の睡眠と疲労の重要性」
今の子どもたちは常に疲労状態であり、それは睡眠時間が関係している。社会で働く上で必要となる「好きなことに興味を持てる力・疑問に思う力・問題設定ができる力・問題を具体的に解決できる力」を育むためにも、十分に睡眠を取り、疲労を蓄積しないようにすることが重要である。

3 講演

- ・ 演題：「前向きに生きるために」
- ・ 講師：バーバラ 植村 氏
- ・ 概要

歌手のA Iさんの母親であり、様々な分野で活躍されているバーバラ植村氏が、自身の経験から学んだ前向きに生きる秘訣について講演された。「朝起きたらまず笑顔。疲れたや辛いではなく、幸せ！できる！と言えばその通りになる」と力強い声で話され、最後は会場中を巻き込んで「幸せ！できる！」という言葉の唱和で大盛況のうちに終了した。



【 研究発表 】



【 水野敬氏による講話 】



【 バーバラ植村氏による講演 】

○ 研究大会のまとめ

家庭・学校・地域とのつながりを大切にし、各種団体・大学・行政機関・企業と連携を図りながらPTA活動に取り組んでいる様子が発表された。PTA戸数減少に伴う活動の負担が高まる中、今後は実態に即した活動の効率化を推進し、更なる連携に努める必要があることを再確認した大会であった。